

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公表番号】特表2007-525699(P2007-525699A)

【公表日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-034

【出願番号】特願2006-547262(P2006-547262)

【国際特許分類】

G 0 3 B	21/00	(2006.01)
H 0 4 N	9/31	(2006.01)
H 0 4 N	13/04	(2006.01)
H 0 1 S	3/00	(2006.01)
G 0 2 B	27/26	(2006.01)
G 0 2 B	26/10	(2006.01)
G 0 9 G	3/02	(2006.01)

【F I】

G 0 3 B	21/00	Z
H 0 4 N	9/31	C
H 0 4 N	13/04	
H 0 1 S	3/00	A
G 0 2 B	27/26	
G 0 2 B	26/10	1 0 4 Z
G 0 9 G	3/02	R

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月16日(2007.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像を視覚可能にするための配列であって、

該配列は、

対向している視覚面を有している偏光スクリーンと、

観察者が視覚するために該スクリーンに画像を投影するプロジェクターであって、該プロジェクターは、複数の異なる偏光であって、相互に直交する偏光のレーザービームを発するアセンブリと、複数のピクセルから構成される走査線に沿って該複数の偏光のうちの1つの偏光のレーザービームのうちの1つのレーザービームを掃引するスキャナであって、該走査線上の該複数のピクセルのうちの選択されたピクセルは、該1つのレーザービームによって照らされて、該スクリーンの該面のうちの1つの面上に第1のサブ画像を形成する、スキャナと

を備えており、

該スキャナはまた、複数のピクセルから構成されるさらなる走査線に沿って該複数の偏光のうちの別の偏光の別のレーザービームを掃引するように作用し、該さらなる走査線上的該複数のピクセルのうちの選択されたピクセルは、該別のレーザービームによって照らされて、該スクリーンの該面のうちの別の面上に第2のサブ画像を形成し、該第1のサブ画像と該第2のサブ画像とはともに、該観察者によって視覚可能である、配列。

【請求項 2】

前記スキャナは、前記複数のレーザービームの各々を、複数の相互に直交する方向に沿って掃引することにより、前記サブ画像の各々をラスターパターンとして形成し、該第1のサブ画像は、前記スクリーン上で該第2のサブ画像と交替する、請求項1に記載の配列。

【請求項 3】

前記アセンブリは、前記1つの偏光の前記1つのレーザービームを発する第1のセットのレーザーと、前記別の偏光の前記別のレーザービームを発する第2のセットのレーザーとを含んでいる、請求項1に記載の配列。

【請求項 4】

各セットのレーザーは、赤色レーザーと、青色レーザーと、緑色レーザーとを含んでいい、請求項3に記載の配列。

【請求項 5】

前記アセンブリは、前記1つの偏光の前記1つのレーザービームを発する複数のレーザーと、該1つのレーザービームを回転させて前記別の偏光の前記別のレーザービームを形成する偏光回転子とを含んでいる、請求項1に記載の配列。